

広い世界へ 一歩を踏み出し、 自分を高め続ける。

英語を深めながら、 多くの仲間と過ごした日々。

興味があった英語や英文学を専門的に学びたいと考え、愛知淑徳大学の英文学科（現・総合英語学科）に進学しました。開学して間もない頃で、私は3期生。学生数がまだ少なくアットホームな雰囲気のもと、イギリスやアメリカの文学研究、英会話などの授業に励みました。L教室で音声機器を活用し、当時としては新しい語学学修に取り組んだことも、思い出として心に残っています。また、英語科の中高教員免許状の取得をめざし、教職課程も履修していました。さまざまな角度から「英語」を深めた4年間だったと思います。

学業と両立し、テニス部の活動も楽しんでいました。約30人の仲間と切磋琢磨して大会に出場し、大学祭「淑楓祭」にもみんな

参加。毎年、うどんの模擬店を出店し、結構評判が高かったことを記憶しています。その仲間たちは、今でも集まるかけがえのない存在。生涯の宝物となる出会いに恵まれたことが、愛知淑徳大学で得た一番大切なものかもしれません。

自分の可能性を広げて グローバルに挑戦。

卒業後も自分を高め続けたいと考え、商社で5年間働いた後、オーストラリアへ。1年間、語学留学をして、帰国後は企業内英語教育を担う会社に就職しました。そこにはイギリス、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランドなど、各国のネイティブ・スピーカー教員が多数在籍。国際色豊かな環境に身を置き、語学力を日常的に鍛えることができたと感じます。そして、新たなチャレンジ

がしたいと思うようになり、名古屋に設立されたばかりだった米国ウエストバージニア州政府日本代表事務所への転職を決意しました。当初はアメリカ人所長を支える秘書として、事務や経理などあらゆる業務に奔走。3年前からは私が代表となり、工場などの投資誘致、貿易促進、観光促進に力を注いでいます。ウエストバージニア州に進出する日系企業は現在20社以上。自動車、化学、金属加工など多分野にわたります。各社を継続的にサポートしながら現地に雇用を創出し、地域に貢献することも見据えています。日々、大切にしているのは「人とのご縁」。

産業界や財界、各国の領事館、自治体や観光協会など、多様な方々との対話から新たなビジネスをつないでいます。愛知淑徳の学生・生徒のみなさんも、自分の好きなことを掘り下げ、力強く前進し続けてください。きつと道が開かれます。

数多くの企業をウエストバージニア州に誘致すべく、多分野の展示会に参加。日本企業は福利厚生がよく、現地の人々も歓迎しています。

テニス部の同期の仲間たち（後列左から2人目が水谷さん）。年1回の合宿、他大学との交流など、テニスを通して人脈も広げました。

米国ウエストバージニア州政府
日本代表事務所 代表

水谷 和代さん

愛知淑徳大学文学部英文学科を1981年3月に卒業。商社勤務などを経て、1993年に米国ウエストバージニア州政府日本代表事務所へ。秘書などを務めてキャリアを積み重ねた後、2016年から代表の職に就き、同州と日本をつなぐ架け橋として活躍。